

方国瑜 主编

雲南史料丛刊

第六卷

徐文德 木芹 郑志惠 纂录校订

云南大学出版社

方国瑜 主编

雲南史料丛刊

第六卷

徐文德 木 芹 郑志惠 纂录校订

云南大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

云南史料丛刊/方国瑜主编;徐文德、木芹、郑志惠纂录校订。昆明:云南大学出版社,1999.5
ISBN 7-81025-828-1

I. 云… II. ①方… ②徐… ③木… ④郑… III. 地方史—云南—史料—丛刊 IV. K297.4-51

中国版本图书馆 CIP 数据核字(1999)第 22697 号

云南史料丛刊

(全 10 卷)

第六卷

方国瑜 主编

徐文德 木 芹 郑志惠 纂录校订

*

云南大学出版社出版发行

(昆明市翠湖北路 52 号)

昆明新星印刷厂印装

*

开本:787×1092 1/16 印张:51 字数:1171 千字

2000 年 1 月第一版 2000 年 1 月第一次印刷

印数:1-1,000(精装)

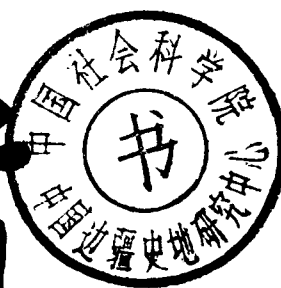
ISBN 7-81025-828-1/K·127

本卷定价:186.00 元(精装) 全套十卷:1850.00 元

方國瑜主編

雲南史料叢刊

楚圖南題



云南史料丛刊（卷6）

目 录

景泰云南图经志书	陈文纂修 (1)
郑颙重修云南志序 (1)	陈文重修云南志序 (2)
云南图经志书凡例 (3)	
卷之一云南府 (4)	晋宁州 (24) 安宁州 (27) 昆阳州 (28) 嵩明州 (29)
卷之二潞江府 (32)	新兴州 (34) 路南州 (35) 曲靖军民府 (36) 霁益州 (38)
陆凉州 (39)	马龙州 (40) 罗雄州 (41) 寻甸军民府 (42) 武定军民府 (43)
和曲州 (44)	禄劝州 (45)
卷之三临安府 (46)	建水州 (50) 石屏州 (50) 宁州 (52) 阿迷州 (53) 广西府 (54)
师宗州 (54)	弥勒州 (55) 维摩州 (55) 广南府 (56) 富州 (57)
元江军民府 (57)	滇沅府 (59) 马龙他郎甸长官司 (59)
卷之四楚雄府 (60)	镇南州 (64) 南安州 (65) 姚安军民府 (66) 姚州 (67)
景东府 (69)	顺宁府 (70) 永宁府 (71) 澜沧卫军民指挥使司 (72)
蒗蕨州 (72)	北胜州 (73) 者乐甸长官司 (74)
卷之五大理府 (75)	赵州 (80) 邓川州 (82) 云龙州 (84) 蒙化府 (84) 鹤庆军民府 (86)
剑川州 (87)	顺州 (88) 丽江军民府 (89) 通安州 (89) 宝山州 (90)
兰州 (91)	巨津州 (91)
卷之六金齿军民指挥使司 (92)	腾冲军民指挥使司 (97) 外夷衙门木邦军民宣慰使司 (99)
缅甸军民宣慰使司 (99)	孟养军民宣慰使司 (99) 车里军民宣慰使司 (99)
八百大甸军民宣慰使司 (99)	老挝军民宣慰使司 (100) 孟定府 (100) 孟艮府 (100)
干崖宣抚司 (100)	南甸宣抚司 (100) 陇川宣抚司 (100) 镇康州 (101)
湾甸州 (101)	大侯州 (101) 威远州 (101) 芒市长官司 (101) 钮兀长官司 (101)
正德《云南志》	周季风纂修 (103)
周季风云南志序 (103)	晁必登云南志序 (104) 云南志义例 (104)
卷一志一云南等处承宣布政使司 (106)	
卷二志二云南府 (122)	
卷三志三大理府 (135)	
卷四志四临安府 (144)	
卷五志五楚雄府 (154)	
卷六志六潞江府 (161)	蒙化府 (167)
卷七志七景东府 (171)	广南府 (173) 广西府 (174)
卷八志八镇沅府 (178)	永宁府 (179) 顺宁府 (180)
卷九志九曲靖军民府 (181)	姚安军民府 (188)

卷十志十鹤庆军民府（193） 武定军民府（197）

卷十一志十一寻甸军民府（204） 丽江军民府（205） 元江军民府（208）

卷十二志十二北胜州（211） 新化州（213） 者乐甸长官司（214） 澜沧卫军民指挥使司（215）

卷十三志十三金齿军民指挥使司（217） 腾冲军民指挥使司（222）

卷十四志十四车里军民宣慰使司（225） 木邦军民宣慰使司（226） 孟养军民宣慰使司（226） 缅甸军民宣慰使司（227） 八百大甸军民宣慰使司（227） 老挝军民宣慰使司（227） 孟定府（228） 孟艮府（228） 南甸宣抚司（228） 干崖宣抚司（229） 陇川宣抚司（229） 威远州（230） 湾甸州（230） 镇康州（230） 大侯州（230） 钮兀长官司（231） 芒市长官司（231） 车里靖安宣慰使司（232） 八寨长官司（232） 孟珪长官司（232） 瓦甸长官司（232） 茶山长官司（232） 麻里长官司（232） 摩沙勒长官司（232） 大古刺宣慰使司（232） 底马撒宣慰使司（232）

卷十五志十五事要（233）

卷十六列传一名宦一（237）

卷十七列传二名宦二（248）

卷十八列传三名宦三（258）

卷十九上列传四名宦四（261）

卷十九下列传五名宦五（268）

卷二十列传六流寓（280）

卷二十一列传七乡献（282）

卷二十二列传八列女（294）

卷二十三文章一文矩：题中庆庙学壁（298） 乔坚：滇池（299） 陪省官游商山龙泉（299） 郑衍：碧鸡山（299） 述律杰：西洱河（299） 张翥：西蕃簪（299） 王明嗣：龙首关（299） 陈旅：邓賧（300） 公孙辅：入霫益乱后份怀（300） 王沂：未步诏（300） 揭傒斯：谒诸葛武侯祠（300） 毛玠：神坪赏花（300） 汉营走马（300） 温泉晚浴（301） 龙祠望云（301） 蕉洞游春（301） 渔村钓月（301） 兰江晓渡（301） 鸡村观稼（301） 张雄飞：碧鸡（301） 班惟志：以云南山川郡号分题送述律元帅开闢得越嶲（302） 赵珪：温泉（302） 许有任：送云南都元帅述律公开闢（302） 李京：过金沙江（302） 张来仪：点苍山歌（303） 马思温：送述律元帅开闢（303） 泰普华：送述律元帅开闢（303） 靳荣：送述律元帅开闢（303） 道童：送述律元帅开闢（303） 李材：送杨耀卿使云南（304） 出使云南留别（304） 李京：初到滇池（304） 滇池九日（304） 乔坚：题河尾关驿壁（304） 题河尾关驿壁（304） 李京：元日大理（304） 李伯强：九日登大理玉局山（304） 段福：春日白崖道中（305） 李景山：过牂牁江（305） 清远居士：过果苴浪（305）

卷二十四文章二沐璘：瑞麦（306） 食点苍山雪（306） 过横岭铺望点苍山有感（307） 林俊：大理分司偶成（307） 逯昶：大理别友人（307） 彭纲：滇池泛舟（307） 过姚安府（307） 逯昶：丽江雪山（307） 童轩：自曲靖回至杨林观田家刈获有成（307） 郑颢：巡边至永平过沙木和驿有感（308） 童轩：和沙木和驿壁间郑都宪韵（308） 沐

璘：自永昌至沙木和（308） 彭纲：金齿谒武侯祠用元揭文安公韵（308） 平显：题聚远楼（308） 童轩：点苍山（309） 王景常：秋江静钓（309） 判山玩月（309） 题晴峦积翠壁（309） 越州回师（310） 沐璘：滇南即事（310） 童轩：禄脰驿和祝廷瑞侍御壁间韵（310） 鹤庆道中（310） 乙丑五月五日同诸公游西莲池（310） 韩宜可：五华山（311） 除夜呈总兵官（311） 童轩：暮春呈贡县作（311） 聂大年：校文云南（311） 彭纲：至云南（311） 嵩明分司（311） 沐璘：入下关（311） 童轩：秋暮至曲靖（311） 钱谩：锦江春雨（312） 玉局夏云（312） 洱水秋风（312） 苍山冬雪（312） 鸳浦斜阳（312） 龙关晓月（312） 西峰瀑布（312） 彼岸浮图（312） 碑院官梅（313） 磻溪罢钓（313） 王臣：点苍山（313） 童轩：漾备道中（313） 陈逊：判山耸翠（313） 曲江晓渡（313） 童轩：重至临安分司（313） 彭纲：通海倚雪崖童先生壁上韵（313） 韩宜可：题桂香楼（314） 陈晟：临安东郊志喜（314） 彭纲：广通道中（314） 沐昂：次江川驿（314） 童轩：临江道分司题壁（314） 石门关（314） 石门关（314） 朱瑩：洱海察院次韵（314） 杨光：西峰瀑布（315） 逯昶：龙关晓月（315） 点苍山（314） 韩宜可：四季小景（315） 邵敏：峨嵋晴岚（315） 童轩：漾备早行（315） 暮入永平（315） 夜宿沙木和闻猿（315） 彭纲：暮至金齿（315） 过浪穹峡（315） 宿观音山驿（315） 宿邓川驿（315） 南安分司（315） 姚安分司（315） 捨资驿（315） 漾备道中（316） 童轩：暮至宁州（316） 彭纲：桃源成（316） 隆庆关（316） 夜宿和摩旧站卒家（316） 姚安分司漫成（316） 自镇南州趋姚安府途中即事（316）

卷二十五文章三张统：铜漏铭（317） 张适：敬思斋铭（317） 王景常：平云南颂（318） 刘寅：金马山赋（320） 黔宁昭靖王庙赋（321）

卷二十六文章四张柬之：奏省罢姚州疏（325） 陈天祥：谏伐西南夷疏（325） 程文海：平云南碑（326） 赵子元：赛平章德政碑（327） 赵傅弼：创大理文庙碑（329） 王景常：黔宁昭靖王祠堂碑（330） 王直：定远忠敬王庙碑（333） 王臣：重修咸阳王庙碑（335） 欧阳旦：云南县新迁文庙儒学碑（337）

卷二十七文章五黄玉：黔宁王神道碑（340） 附录：程本立：黔宁王沐英祖墓神道碑略（343） 杨士奇：定远王沐公神道碑（343） 胡濙：定边伯沐公神道碑（346） 吴节：黔国荣康沐公神道碑（348） 李贤：总兵官都督沐公神道碑（349） 王侁：赞理都督沐公神道碑（351） 谢绶：太师武僖沐公神道碑（353） 林瀚：参将锦衣都指挥使沐公神道碑（354）

卷二十八文章六虞集：云南志略序（356） 元明善：云南志略序（357） 李景山：云南志略自序（357） 童轩：恺然堂八景诗序（358） 王景常：董庄愍死节威楚序（358） 送五云韩先生诗序（359） 刘俨：白斋诗序（360） 王景常：金齿安边定远楼序（361） 王英：金齿改建儒学诗序（362） 王景常：云南图经志书序（362） 平显：云南后志序（363） 郑颙：重修云南志序（363） 陈文：重修云南志序（364） 彭纲：云南总志序（365）

卷二十九文章七郭松年：中庆路大成庙记（368） 支渭兴：重修中庆路庙学记（369） 李源道：建中庆路学讲堂记（370） 支渭兴：中庆路增置学田记（370） 何弘佐：中庆路学礼乐记（372） 范可仁：中庆路学田碑记（372） 邓麟：至正桥记（373） 孙大亨：

大德桥记 (374) 李起严：重修三皇庙记 (376) 郭松年：大理行记 (377) 李思原：潞江路孔子庙记 (378) 欧阳玄：升姚安路记 (379)

卷三十文章八王景常：天津桥记 (381) 平显：汤池渠记 (382) 王景常：敬思堂记 (382) 程本立：敬思堂记 (383) 刘有年：南楼望远记 (384) 张统：黔宁昭靖王庙记 (384) 程本立：黔宁昭靖王庙记 (386)

卷三十一文章九周洪谟：巡抚都台碑记 (391) 张统：布政司公廨记 (392) 商格：云南按察司重造记 (393) 彭时：云南府儒学重修记 (394) 周叙：云南郡庠进士题名记 (395) 郑颙：云南按察司题名记 (396) 陈文：新建南坝闸记 (396) 郑颙：五华书屋记 (398) 沐璘：云南按察司公廨记 (398) 柯暹：云南都司题名记 (399) 王臣：云南府儒学乡贡题名记 (399) 按察提学分司记 (400) 栖凤亭记 (401) 彭纲：新建昆明县儒学记 (402) 张统：慎斋记 (403) 应履平：云南布政司题名记 (404)

卷三十二文章十彭纲：敕赐二忠祠记 (405) 彭纲：晋宁州新凿泮池记 (407) 陈文：安宁州儒学庙记 (407) 童轩：晋宁州儒学记 (408) 周洪谟：太和县儒学记 (409) 彭时：宝泉坝记 (410) 童轩：云南县重修儒学记 (411) 刘俨：重修大理府学记 (412) 王臣：苍山书院记 (413) 张志淳：新建赵州城记 (414) 晁必登：潞江府改建府治记 (415) 谢朝宣：宪台题名记 (416)

卷三十三文章十一王景常：临安建府治岁月记 (417) 王直：惠宣堂记 (417) 周洪谟：石屏州庙学记 (418) 彭纲：通海县儒学记 (419) 陈宣：临安新开石屏湖水利记 (420) 童轩：楚雄府学记 (421) 彭纲：楚雄县新迁儒学记 (422) 董朴：楚雄府儒学会讲亭记 (423) 周洪谟：蒙化府儒学记 (424) 柯潜：曲靖府儒学记 (424) 童轩：重修曲靖府儒学记 (425) 彭纲：曲靖府澄清三桥记 (426) 王直：金齿司儒学记 (427) 王臣：霁虹桥记 (428) 林俊：永昌乡贤祠记 (429) 李东阳：可贞堂记 (429) 云南外志引 (432)

卷三十四外志一寺观 (433)

卷三十五外志二仙释传 (439)

卷三十六外志三诸夷传一 (442)

卷三十七外志四诸夷传二 (445)

卷三十八外志五诸夷传三 (452)

卷三十九外志六诸夷传四 (461)

卷四十外志七诸夷传五 (474)

卷四十一外志八诸夷传六 (478)

卷四十二外志九文章一郭松年：题筇竹寺壁 (482) 李源道：游大理崇圣寺 (482) 李伯强：游再光寺 (482) 沐昂：坐五华山聚远楼 (483) 沐僖：游海源寺 (483) 题太华寺一碧万顷阁 (483) 郑颙：春日游圆通寺 (483) 题雪谷 (483) 陈士常：游太华寺次韵 (483) 沐璘：冬日游筇竹圆照寺 (483) 宿一碧万顷山房 (484) 平显：灯雨斋四首 (484) 彭纲：偶过圆照寺 (484) 登太华寺 (484) 沐昂：题德丰真如境界姚安 (485) 沐璘：题德丰真如境界姚安 (485) 曾烜：陪西平侯游太华即事二十韵 (485) 沐昂：赠太华僧解制下山 (485) 范宗晖：陪蒋侍御游太华寺 (485) 胡粹中：晚入五华寺 (485) 郭登：游太华寺 (486) 游太华寺 (486) 沐昂：游大理崇圣寺

(486) 李韶：游大理感通寺(486) 逯昶：宿金齿山中寺(486) 沐昂：游金齿法明寺(486) 沐璘：题五华寺旷怡楼(486) 郑颙：和五华寺旷怡楼(486) 桂慎：登太华山寺(487) 吴存敬：翠微深处(487) 张统：游太华寺四首(487) 冯诚：翠微深处(487) 吴存敬：题龙池道院(487) 潘仁：游太华寺(487) 沐昂：陪兄定远王游太华寺(488) 游太华寺(488) 沐僖：游太华寺(488) 沐璘：题五华寺归云丈室(488) 五华寺真意亭(488) 游太华寺二首(488) 题圆通寺雪窟二首(488) 郑颙：游太华寺(489) 题圆通寺雪窟(489) 童轩：登五华寺戒上人楼(489) 郭文：登太华寺后阁(489) 逯昶：道中望荡山感通寺(489) 沐璘：游大理感通寺(489) 陈文：游感通寺(489) 周正：游感通寺(490) 刘信：用杜郎中韵(490) 王臣：奉次林侍御游三塔佳什(490) 感通寺次旧韵(490) 郭登：登临安通海涌金寺(490) 题楚雄妙严寺(490) 沐昂：游正续寺二首(490) 萧俨：游正续寺(490) 李楸：游金齿法明寺栖云楼(491) 汤琮：游法明寺赠住持僧(491) 春日游真武观(491) 陶宁：游真武观(491) 俞庆：游百花寺(491) 游观音寺(491) 游真武观(491) 张统：游华亭寺(491) 沐昂：春日游圆照寺(492) 姚肇：游五华寺(492) 蔡云程：游太华寺二首(492) 夏言：游圆通寺一首(492) 岑万：过圆通寺次少师桂翁韵(492) 胡尧时：登圆通寺岩亭次少师桂翁韵(492)

卷四十三外志十文章二李源道：大理大崇圣寺碑(493) 张统：感通寺碑(495) 李源道：圆通寺记(496) 威楚万春山真觉寺记(497) 欧阳玄：姚安妙光寺记(498) 王景常：龙泉山道院记(498) 郑颙：思召堂记(499) 净明院记(500) 陈循：龙泉观长春真人祠记(500) 费良弼：昭灵观记(501)

卷四十四外志十一文章三张统：具足院记(504) 金问：真庆观兴造记(505) 周叙：真庆观记(505) 附录：周叙撰重建真庆观记(506) 张统：妙果禅院记(507) 萧玘：重建长春观记(508) 柯暹：重修五灵庙记(509) 童轩：昆阳州重修滇池神庙记(510) 王景常：如是庵记(511) 王景常：通海县重修涌金寺碑记(512) 郑颙：金齿司庙学新建梓潼祠记(514)

万历云南通志·建设 赋役 学校 兵食 羁縻

五志摘录……………〔明〕邹应龙修 李元阳纂(517)

卷之五建设志第二(519) 云南布政司(519) 云南府(523) 大理府(527) 临安府(531) 永昌府(535) 楚雄府(539) 曲靖府(541) 潞江府(543) 蒙化府(546) 鹤庆府(546) 姚安府(549) 广西府(550) 寻甸府(551) 武定府(553) 景东府(555) 元江府(555) 丽江府(556) 广南府(556) 顺宁州(557) 永宁府(557) 镇沅府(557) 北胜州(557) 新化州(558) 者乐甸长官司(558)

卷之六赋役志第三(559) 云南布政司(559) 云南府(561) 大理府(563) 临安府(565) 永昌府(567) 楚雄府(568) 曲靖府(569) 潞江府(571) 蒙化府(572) 鹤庆府(572) 姚安府(573) 广西府(574) 寻甸府(575) 武定府(575) 景东府(576) 元江府(576) 丽江府(577) 广南府(577) 顺宁府(577) 永宁府(577) 镇沅府(578) 北胜州(578) 新化州(578) 者乐甸长官司(579)

卷之七兵食志第四 (579) 云南都指挥使司 (579) 澜沧兵备道 (581) 临安兵备道 (581) 曲靖兵备道 (581) 金腾兵备道 (581) 云南左卫 (581) 云南右卫 (582) 云南中卫 (582) 云南前卫 (582) 云南后卫 (583) 广南卫 (583) 宜良守御千户所 (584) 安宁守御千户所 (584) 易门守御千户所 (584) 杨林守御千户所 (585) 云南十八寨守御千户所 (585) 武定守御千户所 (585) 木密守御千户所 (586) 凤梧守御千户所 (586) 大理卫 (586) 鹤庆御 (587) 洱海卫 (587) 大罗卫 (588) 临安卫 (588) 通海御 (588) 新安守御千户所 (589) 永昌卫 (589) 永平御 (590) 腾冲卫 (590) 楚雄卫 (590) 定远守御千户所 (591) 姚安千户所 (591) 中屯千户所 (591) 曲靖卫 (592) 马隆守御千户所 (592) 平夷卫 (592) 越州卫 (593) 六凉卫 (593) 蒙化卫 (593) 景东卫 (594) 澜沧卫 (594)

卷之八学校志第五 (595) 云南府 (595) 大理府 (604) 临安府 (613) 永昌府 (619) 楚雄府 (623) 曲靖府 (626) 潞江府 (629) 蒙化府 (632) 鹤庆府 (634) 姚安府 (638) 广西府 (639) 寻甸府 (639) 武定府 (640) 元江府 (640) 广南府 (641) 顺宁府 (641) 北胜州 (641) 新化州 (641) 景东卫 (641) 平夷卫 (642) 六凉卫 (642)

卷之十六羈縻志第十一 (642) 羈縻差发 (642) 贡象道路 (643) 分制吐蕃 (644) 焚夷风俗 (644) 爨蛮风俗 (647) 滇国始末 (648) 白国始末 (648) 南诏始末 (648) 诸史摘传 (656)

滇略 [明] 谢肇淛撰 (660)

薛承教序 (661)

卷一版略 (662) 云南府 (663) 大理府 (664) 临安府 (664) 永昌军民府 (665) 楚雄府 (665) 曲靖军民府 (665) 潞江府 (665) 蒙化府 (666) 鹤庆军民府 (666) 姚安军民府 (666) 广西府 (666) 寻甸府 (666) 武定军民府 (666) 景东府 (666) 元江军民府 (667) 丽江军民府 (667) 广西府 (667) 顺宁府 (667) 永宁府 (667) 镇沅府 (667) 北胜州 (667) 蒗蕨州 (667) 新化州 (667)

卷二胜略 (669)

卷三产略 (681)

卷四俗略 (694)

卷五绩略 (703)

卷六献略 (717)

卷七事略 (728)

卷八文略 (743)

卷九夷略 (771)

卷十杂略 (788)

景泰云南图经志书

〔明〕陈文纂修

概 说

郑颙重修《云南志·序》：“景泰甲戌四年（公元一四五四年）孟秋七月，有诏纂修輿地志书，礼部奏选文学之士，授以条划，分行天下。进士王谷实来云南，众议右布政使陈君简安宜总其事。君承事惟谨，暨诸文儒，夙夜在公。殚心竭虑，期搜访之必料；埶故钩新，在去取之皆当。不四阅月而志书告成。”又陈文重修《云南志·序》：“景泰五年七月八日，诏礼部重修天下地理志，……文等参与其事。祇严早夕，博访而统观，穷搜而远探，正旧志之乖讹，公輿情之去取，若是者四阅月始获成书，分为十卷以进。既而以所存之稿，命工镌梓。”按：道光《云南通志·艺文志》著录“《云南志》十卷，明王谷修。景泰时，朝遣进士王公谷至云南，会才岳儒臣修之，得十卷以进。”此据诸葛元声《滇史·序》所说。张志淳《南园漫录》卷二“工鱼”条引《云南志》曰：“当时图老陈公文为云南布政使，实总裁之。”按景泰《志》卷一泰然堂注曰：“详予碑记。”卷十载陈文撰《泰然堂记》，则所谓“予”即陈文自称，志书出自陈文之手也。

是书凡十卷，前六卷为《地理志》，后四卷为《艺文志》。地理分府州立建置沿革及事要二项，事要又分郡名、至到、风俗、形势、公廨、学校、井泉、堂亭、楼台、寺观、祠庙、古迹、墓苑、桥梁、馆驿、名宦、人物、科甲、题咏等二十一门。惟各府州不必尽备。事要所载文字简略，彭纲《云南总志·序》已言之，且非当时采访，而大都录自以前志书之文。又《艺文志》所载，多元人作诗文碑记之文，亦录自以前志书，故虽简略，惟现存志书完备者，莫先于此，多可供参考也。按：此书在云南镌板，多有传本。又陈文字简安，庐陵人，官至文渊阁大学士，《明史》卷一三四有《传》，故世人重其书，多见称说。

北京图书馆藏景泰六年刊本，一九三〇年云南通志馆从北京影抄得之，今归云南省图书馆。闻北京图书馆原藏本，被蒋帮劫走，又从云南图书馆转抄方耀仙先生早年藏精抄本，今归云南大学图书馆。一九四四年，袁同礼将印《善本丛书》第二集，收景泰《云南志》，已摄全书影片，惟丛书未见出版。在一九六二年，云南历史研究所油印数十部，以广流传。 方国瑜识

重修云南志序

景泰甲戌孟秋七月，有诏纂修方輿志书，礼部奏选文学之士，授以条画，分行天下，俾其所至，会诸方岳儒臣，广蒐精择，计偕以上。而进士王谷，实来云南。众议右布政使陈君安简，宜总其事。君承事

惟谨，暨诸文儒，夙夜在公。殚心竭虑，期蒐访之必精，埶故钩新，在去取之皆当。不四阅月，而志书告成，将锓梓以传，诣予丐言为序。惟云南之事，载在汉班固《西南夷传》者旧矣！至元李景山始为《志略》。然其时声教初及，制度简率，礼乐文章之事，未甚明备，道德风俗之美，未甚同一。宜乎蒐访者难精，而该载者不博也。我朝奄有天下，幅员之广，疆域之大，振古莫及。云南以险远后服，太祖皇帝特命勋臣镇之，迨今七十余年。山林川泽、坟衍原隰，物产之富，郡县城郭疆理之雄，灵坛古迹、琳宫梵宇之胜，园池楼阁、亭台馆榭之丽，贤臣哲士之生于其乡，仕于其地，诗书礼乐之教养其人，于是道德既同，而风俗丕变，向之椎髻卉裳之民，荷戈负弩之习，渐化而为衣冠文物之美矣。孔子曰：“如有王者，必世而后仁。”此其时耶，虽然礼乐文章之明备，道德风俗之同一，固由乎圣王悠久教化之浹洽，然非得人以任纂修之责，抑何以成昭代制作之盛，而睹今日大一统之寰区，如斯其广者哉！是书之成，远稽诸经，近考史籍，井疆、里俗、食货、艺文之事，古今因革、损益之宜，条分缕析，明白详尽，可谓无遗漏矣。而陈君用心之勤，蒐访之精，去取之当，亦于是而有可考焉。

景泰六年岁次乙亥春三月望日

中宪大夫巡抚云南都察院右佥都御史钱唐郑颙序

重修云南志序

皇上纘承大统，抚御万方，夙夜孜孜，图惟宁永，乃于景泰五年秋七月八日，诏礼部重修天下地理志，将悉阅而周知之。其奉使采取，及所在任其事者，必慎选文学才德其人以充。时进士王谷诣云南，宣昭圣意。于是文等忝与其事，祇严朝夕，博访而遍观，穷搜而远探；正旧志之乖讹，公輿情之去取。若是者四阅月，始获成书，分为十卷以进。而云南古今事、文，殆无遗者。既而以所存之稿，命工锓梓，而序之曰：地理有志，肇于夏之《禹贡》，掌于周之《职方》，著于汉之《迁史》。而班固广之曰《志》，凡河岳之流峙，原隰之肥饶，物产之登耗，风俗之美恶，人才之丰啬，悉志焉。以任土作贡，分田制禄，授方任能，用臻康乂者，良以此也。云南古西夷靡莫之属，远在荒外，而《禹贡》、《职方》之所不及者也。汉武时，始通中国，继以蜀、晋、隋、唐，虽曰郡县，其地不过遥制，以为羁縻而已。况蒙、段二氏，假号承强，历数百年，屡为边患，宋则置之度外，岂惟力之不赡哉！至于

有元，仅能一而抚之，然治教晦塞，气习犹自异于内地，视前代之遥制以为羈縻者，又岂能大相远哉！天启皇明，奄有寰宇，仁风义气，弥于六合，施及四夷。云南以征而后服，特任勋戚荅臣，领重兵而世守之。莅以藩镇，肃以臬司，因革其郡县，制其田里，闾井其民以施治，遍立学校以施教，又简命练达重望之臣以巡抚之，迄今七十有三年，是以圣化渐被，无间穷僻，椎卉化为衣冠，嗁咿变为雅颂，熙熙皞皞，亦何下于内地哉！由此而观，则皇明之有云南，不特一其地以示舆图之广，然定为经制，以成其治教之盛，实亘古所未有也。今具于《志》，得非希世之盛典欤！文等文学才德，举无似者，敬竭一得之愚，以仰答圣意于万一。而皇明丕显丕承之化，无远弗届，亦于是而概可见矣。嗟夫！顾此一隅之陋，继今以往，获媲美于内地，诚万世之大幸也欤。

景泰六年三月望日

中奉大夫云南右布政使庐陵陈文序

云南图经志书凡例

一、志书各项事迹，俱准宋祝穆《方輿览胜》采取。然宋之诸路，即今之各布政司也。诸路不立，建制沿革及事要之目，惟详于所领府州之下，今从之。

一、考云南于古为荒外之地，三代载藉无闻。今本之以前汉《西南夷传》，参之以三国、五代、晋、唐、宋、元诸史，质之以《通鉴纲目》，而更考李景山之《志略》，以正旧志之失焉。

一、郡名，旧志有所略则增之；形胜，旧志有所缺则补之；至到，则循其实；土产，则书其所特出，而删其所同有；山川、井泉、寺观、堂亭、楼阁、古迹，惟记其胜处；祠庙，则削其淫祀；祠墓，则录其先贤；曰公廨，曰学校，曰馆驿，曰桥梁，其建置皆旧制所未备，今详之。

一、风俗，旧志以诸夷之故实，总叙于布政司之下；而于各府州，但书诸夷之名而已。今则各因其类之最盛于某府某州者，提其风俗之要，而分注其事实，以入于其下。若其类之散处于别府别州者，则惟附见于其风俗之分注，而不提其要也。

一、名宦人物，凡没世而功德节义之名行有闻者，无间久近，皆书之，以公论定于盖棺之后也。其存者虽材贤高爵而不书者，冀善其终而将有待也。科甲则详其出于某科、某甲，而乡贡不列者，虑其多也。

一、诗文，云南绝少，旧志所载前代惟唐张东之奏疏一通，元时诗文仅数十篇耳。国朝自洪武壬戌平定以来，至今又七十三年，其间名宦才人所纪咏，有关于建置事要之实者，既因旧志所载而增采之，其篇什尚不过元之数；若以为非古而并去之，则无以昭圣世文明之化。无远弗届，后之视今复何所考，故增入于所

关事要之下。其不可入者，则并元之诗文录附于后卷，庶几云南可齿于中州焉。

云南图经志书卷之一

云南布政司直隶府州司凡二十九，外夷府州司凡一十七，至到见前图，建置见云南府事要下。

云南府

县名 昆明 宜良 富民

建置沿革云南古西夷靡莫之属，其君长以十数，而滇最大，以地有滇池，因为名也。春秋战国时，楚顷襄王遣弟庄蹻略地黔中，西至滇池，即其地矣。会秦伐楚取黔中，蹻遂王滇，号滇国。又名其池曰昆明。汉武帝将讨之，以其国有昆明之险，乃即长安西南作池象之，以习水战。元封二年，以兵临滇，滇举国降，请置吏入朝，于是以为益州郡。蜀汉建兴三年，诸葛武侯南征，斩益州耆帅雍闿，遂入滇池，改益州郡为建宁郡。晋、唐以来，分隶更置，徒为羁縻而已。蒙氏筑拓东城，亦此地也。段氏以此为八府之一，号鄯阐府。元改为中庆路，置行省。今洪武十五年，天兵南下，改为云南府，领四州十县，治昆明、宜良、富民三县。昆明在附郭。蛮呼宜良曰罗普笼，富民曰利浪，又称黎州。今所因县名，皆元所更也。

云南都指挥使置司

云南按察使置司

事要

郡名 滇国见沿革。昆明同上。益州同上。鄯阐同上。中庆同上。

至到 地理东至澂江府邑市县一百八十里，南至澂江府河阳县一百二十里，西至楚雄府广通县三百五十里，北至寻甸军民府二百一十里，东北到曲靖军民府马隆州二百八十里，东南到广西府四百里，西南到澂江府江川县一百六十五里，西北到武定军民府石旧县一百九十里。**铺舍**在昆明县者七，曰总铺、曰金马山、曰板桥、曰赤水鹏、曰黑林、曰高桥、曰清水江。在宜良县者二，曰县前、曰汤池。在富民县者二，曰县前、曰罗葵。凡十一铺。

风俗 俗尚浮屠，旧志书云：楚人无间贫富，家有佛堂，老幼手不释数珠，一岁之间，斋戒居半，朔望则裹饭袖香入寺礼佛饭僧。其僧有二种，居山寺者曰净戒，居室家者曰阿吒力，事之甚谨。二月八日为迎佛会，相率罄其貲以从事，虽费万钱，莫之惜者。今牧守尝节约之，此会少已。**男劳女佚**，旧志云：土人多服劳耕稼，以田四亩为一双，犁则二牛三夫，前挽中压后驱。妇人好华饰，傅粉黛，蟠头，以酥油泽发，衣方领封襟，长身鹤袖。不事蚕织，居家或戴攒顶黑巾，日中则戴帽，坐街子交易。处子孀妇，出入无禁。房舍四围皆床榻，中置火炉与床平，上用铁三脚^[1]架锅为炊，剖全木为甑，此其故俗也。**少信医药**，土人有病，多祭鬼，少求医服药，或以牛角啞血。死则浴尸，束缚置方棺中，或坐或侧卧，以布方幅，令有室僧名阿吒力者，书梵咒八字其上曰：“地水火风，常乐我净。”而饰以五采，覆之于棺。不问僧俗，皆送之野而焚之。或五日、或七日，收骨贮瓶中，择日而葬之。**为星回节**，每岁六月二十五日^[2]，杀牲祭祖，至夜为星回节。以高竿缚火炬烛天，以占岁之丰凶，明

则稔，暗则灾。幼者各燃松炬，往来亲邻之家，照燎一回为戏。传云昔皮罗阁灭五诏，是日以松明为楼，会诸酋其上，而燕以重酿之酒，既醉，举火焚之，故以为祥。贵食生，土人凡嫁娶燕会，必用诸品生肉细剁，名曰剁生，和蒜泥食之，以此为贵。交易用贝，俗乎贝为肥子，以一为庄，四庄为手，四手为苗，五苗为索，虽租赋亦用之。又寅、戌等日趁街子，贸易有无，皆用此也。僰俗丕变，僰人有姓氏，云南在处有之。初从庄蹻至滇，遂留其地。后与夷人联姻，子姓蕃息。至汉武帝时，已侏离嘸嘸，尽化为夷矣。迨今渐被华风，服食语言，多变其旧，亦皆尚诗书，习礼节，渐与中州齿。噫！民德归厚，岂其然乎。士大夫多材能，元学士虞伯生《云南志略·序》曰：昔我世祖既即位，奠海内，使省臣赛典赤往，抚以威惠，沿其俗而道之善利。镇以亲王贵人者四十年。方是时，治平日臻，士大夫多材能，乐事朝廷，不乐外官。夷汉杂处。云南土著之民，不独僰人而已，有曰白罗罗、曰达达、曰色目，及四方之为商贾军旅移徙曰汉人者，杂处焉。

形胜 滇为西南重镇，见元儒学提举何弘佐《礼乐记》。会要之地。见进士蹇郁《修学记》。万里云南，见学士虞伯生《云南志序》。山川明秀，民物阜昌；见儒学提举孙大亨《大德桥记》。冬不祁寒，夏不剧暑。同上。

土产 松子树皮无龙鳞而稍光滑，枝上结松球，大如茶瓯，其中含实有二三粒者。邓花有五色八头八蕊。嘉莲双花共干，景泰五年夏，产于滇之水云乡。蕃茄有垂实三颗而同一蒂者，产于布政司之后圃，与嘉莲同时，识者以为丰年之兆，已而果然。

山川 碧鸡山在郡城西，周围十数里，峰峦碧色，石壁如削，下瞰滇池，为诸山之最。其北为关曰碧鸡关。按：王昇碑勒以为昔日有碧凤翔翥于此，讹为碧鸡，因以名山，理或然也。○元西台御史张雄飞诗：北关辞丹凤，南云看碧鸡。紫苔移玉座，瑶草湿金泥。雨霁龙归洞，风生虎渡溪。寻梅穿竹径，采药蹑松梯。白日依山尽，青天入海低。寄书无雁过，择木有猿啼。花映高低树，园分远近畦。飞星驰宝马，沉水吐银猊。鱼戏莲房北，鸥鸣荻渚西。长歌汉颂罢，刻石纪新题。○行省经历郭进诚诗：碧凤一飞去，空遗碧鸡名。寥寥千载下，徒仰山仪形。夕霞丽丹冠，朝阳纷彩翎。流响不复作，松泉自韶谿。圣德辉九有，尔胡不一鸣。无乃瑞中州，未暇来边庭。我笔虽无喙，能出鸾凤声。天应怜响绝，俾以鸣治平。置之金碧间，庶与山峥嵘。金马山在郡城东十里许，山不甚高，而绵亘于东南数十里。有长亭，其下为关曰金马关，旧传有金马隐现其上，因与碧鸡齐名。今城南三市街有碧鸡、金马二坊，盖表其为一方之胜也。然二山皆有祠，汉宣帝神爵元年，修武帝故事，闻益州郡有碧鸡、金马之神，遣谏议大夫王褒持节祀之。褒至蜀，惮其路遥，望而祭之，故今成都亦有碧鸡、金马二坊，盖本诸此也。使臣王允恭有代祀二祠诗，附于别卷。螺山在城中，山有巨石，皆深碧色，望之蟠簇如螺髻状。下有洞，深黑莫测，尝有人燃炬入其中，行两日阻水而返。今郡城依其山之阴。玉案山在滇池西北，盘郁逶迤十余里，佛刹绕之，花木竹石，可怪可愕，亦胜境也。僧修行其间，有终身不下山者，谓之得道。商山在螺山之北，连峰迭嶂，丹崖翠壁，雄丽岩峩，有鸾停鹄峙之状。教授张通有赋，附于末卷。滇池在郡城之南，周回三百余里，庄蹻留王滇池，即此也。又名昆明池。云南诸山之泉，皆会于此，碧鸡在西，郡城在北，南濒晋宁、昆阳二州，池之水自南流而西折，过安宁、富民，入于金沙江。《史记》云：滇水

源广末狭，有似倒流，故名曰滇。其鱼虾鳬雁菱茨蒲莲之利，非东西海之可及也。○元曲靖等路宣慰副使王鼎赋：晋宁之北，中庆之阳，一碧万顷，渺渺茫茫。控滇阳而蘸西山，瞰龟城而吞盘江。阴风澄兮不惊，玻璃莹兮明。晴晖澹苍凉之景，鱼翁作款乃之声；蛟鼉载出而载没，鱼龙或变而或腾。岸芷兮馥馥，汀兰兮青青。粤穷其源，合众派而为深；爰究其流，乃自西而之东。不假乎冯夷之力，不劳乎神禹之功。自混沌之肇判，经螭川而朝宗；电光之迅兮不足以仿其急，雷声之轰兮未足以拟其雄。此滇池气象之宏伟，难以言语而形容者也。予归自于神州，寻旧庐于林丘，怀往日之壮游，泛孤艇于中流。薄雾兮乍敛，轻烟兮初收，晴光兮浴日，爽气兮横秋；川源渺兮莽苍，江山郁兮绸缪。鸿雁集于沙渚，鳬鸥翔于汀洲，睹景物之萧萧，纵一叶之悠悠。少焉，雪波兮凌空，霜涛兮迭重。荡上下之天光，接灏气之鸿濛，叹濯纓之靡暇，乃系缆于岩丛。发长啸于云端，寄尘迹于空龕，探华亭之幽趣，登太华之层峰，览黔南之胜概，指八景之陈踪。碧鸡峭拔而岌岌，金马逶迤而玲珑，玉案峨峨而耸翠，商山隐隐而攒穹；五华钟造化之秀，三市当阊阖之冲，双塔挺擎天之势，一桥横贯日之虹；千艘蚁聚于云津，万舶峰屯于城垠，致川陆之百物，富昆明之众民。迨我元之统治兮，极覆载而咸宾；矧云南之辽远兮，久沾被于皇恩；惟朝贡之是勤兮，犀象接迹而骎骎；如此池之趋海兮，亘昼夜之靡停。因而歌曰：万派朝宗兮，海宇穹窿；圣神膺运兮，车书大同。○顺庆府判官乔坚诗：滇水不可涉，石戟参嵯峨。胡能宅蛟龙，但可藏鼉鼉。渚风荡惊湍，乃尔泥滓多。我欲澄其源，应自昆仑阿。寸谬谅靡救，临流将奈何。商山紫芝曲，鱼父沧浪歌。斯人又不作，千载无清波。盘龙江在郡城东，源出屈偿、昧椽、邵甸山中，凡九十九泉，混然与诸涧会而为一，蜿蜒滂湃，南入滇池。南坝闸距郡城五里许，其东北所出诸泉，咸会于盘龙江，至松花坝，则分而为二，其一由金马山之麓，流过春登里，其一由商山之麓，流过郡城。蒙段氏时，由金马者堤上多种黄花，名绕道金梭河；由商山者堤上多种白花，名紫城银梭河。尝筑土石，托神灵护之，号为佑文、来镇二堰，高下之田，受灌溉者数十万亩。元平章政事赛典赤增修之。张云鹏诗曰：一国有田皆种稻，四时无日不开花。今南坝之水，即紫城银梭河之所流也。前代之为坝为堰，不过为苟且疏略之计。每岁夏秋之间，潦水暴至，则弥望湮没；亢阳不雨，则遍野焦枯，民常苦之。太傅黔国公赠定远王沐晟，与弟左都督赠定边伯沐昂，尝于永乐宣德中，谋造石闸，以蓄泄其水，而为经久之利，皆值边境多事，未就其志。景泰癸酉，今总兵管都督同知沐璘，谋于参赞军务右佥都御史郑颢，会众以议请允，乃斲石为闸，设以守者，因水之盈缩，而时其启闭，民甚便之。汤池渠在宜良县之西南二十五里。杭人平显曰：汤池渠肇始于洪武之丙子。时西平惠襄侯沐公在镇，以云南师旅之众，仰给饷馈，因备攻守用，广辟屯田为悠久计。宜良在滇东南，当陆凉、路南喉襟，既置兵守，必谋其食。公相度原野，旧有沟塍，广不盈尺，流注弗远；汤水在旁，人不知用；斥平腴腴，弃为荒隙，不尽地产。是年冬，发卒万五千荷畚鍤，以云南都指挥同知王俊，因山障堤，凿石刊木，别疏大渠，导泄于铁池之窟，而洩其袤三十六里，阔丈有二尺，深称之，逾月功竣。引流分灌，得腴田若干顷。春种秋获，实颖实粟^[3]，岁获其饶，军民赖之。越二年公薨。壬午夏，既芒种，雨不时降，人方为忧，独宜良水利不竭。首毕农事，将校黎老，益追慕^[4]公德，咸愿镌石以纪颂于不朽，丐铭于平显。铭曰：汤池之渠，宜良之利；人食以生，维公所施。我公伊谁，黔宁冢嗣；善继厥志，奚啻一事。渠流沄沄，浸彼田稚；勿罹勿勤，冬有敛穧。公虽云逝，我思无替；穹石斯砺，宪于万世。

公廨 帅府在城之崇正门内，建于景泰二年。今总兵镇守参赞三司等官，遇有边境

重务，会议于此，议定然后行之。旧察院在崇正门内，建于永乐二年，今参赞都御史居之。新察院在咸穆门内，建于正统二年，今巡按御史居之。布政司在城之中，洪武十五年建置，内有经历司、照磨所、理问所、司狱司、济用库、架阁库、仪从库。外有薇垣、宣化二坊，在其南。景泰五年春，左布政使贾铨，别建一坊于其西。总兵官沐璘题之曰福民。盖述民乐之词，以著其善政之概。其详见《福民传》。前吏部尚书张统，尝为本司左布政使，其《公廨记》曰：公廨广三十七丈，袤百又十步有奇。段氏时称东府，元为行省，皇明底绥万方，以洪武壬戌，戡定云南，就置布政使司。屋宇阶庭，虽有成绩，较之华夏，则规模差陋。唯堂与寝，其制颇精致，旋荣累节，轩翔峻起，但历岁已久，柱倾瓦漏者屡矣。周庑之外，仪以重门，功绪甚略。意精者其旧贯，而粗者元之改作也。东播左右司以下，西播管勾厅以下，属寺悉附焉。统备员以来旅，拒乌合之徒，内讧而外叛，兵既未休，饥疫随之，日不暇给者凡五年。岁丙寅，始克储材。明年冬，撤其堂而新之，正六楹，楹围五尺，栋九架而衍其前，脊高四寻，檐杀脊之半以强。越二年，再治材，且因且革，门寝，暨经历司始成，其外门两廊，仍未易也。初，令有司计木之数与巨细，若户力之盈朒，差而赋之，转致不立期，一从其便。其兴徒也，较四州十一县夫之壮者。每一州县，均作三四番，每番期十日，乍作乍辍，不敢妨其务，不敢竭其力，迁就数逾年，而迄未毕工。如是乎其艰且滞也，何哉？盖兵民之役，有征有屯，有筑有饷，其大者如此，其小者未可枚举，故不得已，为是迂拙之政，诚不忍更督促之也。窃^[5]尝论之，云南于古为荒外不治之地，山林幽阻，民俗草昧，各种各部，如蜂蚁然。无教令等威之制，无宫室器用富厚之资；生理既不足系其心，又奇险可以容恶。是以乐纵恣而安悖乱，苟束之以法，而强之以不能，彼不信然相噬，则触然而长往矣。昔在汉晋，虽尝设官，亦即其要会而领之。隋唐间颇置州郡，皆不过羁縻而已，固未尝如中国间井。其人也，元以四夷气类相近，因而抚之为宜，然其弗靖者犹尔也。是以志烈之士，非不如草雉而禽猕之。顾其势有所不行，亦噤默久之乃已。徐而思之，有如耐饥渴，习雾露，乘高走险，殊死而不顾者，乃其所长。然而性多荒惰，暗于事机，素无节制之可守。虽则易合，亦复易离。智者察此，则知所以制之矣。必有人焉，才兼文武，而道济方域，曰德、曰威、曰廉、曰信，兼此四者，而事不定，人不安，吾不信也。故当无事则佚荡简易，宽小过，守大纲，如班定远之言。或有蠹贼，则乘其未滋，霆冲电激，指的而中之，以惩其余，斯亦攻心伐谋之大端。夫如是良怖急者可床下伏矣。敬告来哲，诚不知所以裁之。都司在布政司之西南，洪武十五年建置。内有经历司，外有振武、宣威二坊，立于街之东西，其断事司则别置于东南之前街。领卫一十有九，守御千户所六。详见《碑记》。其城周围十里余，开六门，东曰咸和、曰永清，南曰崇正，西曰广威、曰洪润，北曰保顺，而重楼战格，雄于南纪。其演武之地有二处，一在崇正门外曰小教场，一在保顺门外曰大教场。按察司在布政司之东，洪武二十九年建置。内有经历司，照磨所，其司狱司则置于门外，又有弼教、慎法二坊，立于东西。然分按四道，曰安普、曰临元、曰洱海、曰金沧。而安普道则在本司之东南，相去百数十步耳。其详见《碑记》。六卫散置于城中，各有经历司、卫镇抚，左、右、中、前、后及中左六千户所。其千户所亦各有所镇抚一，百户所十。贡院在帅府之北，景泰四年春，今右金都御史郑颢以设科取士，所系非轻，乃与总兵官沐璘合谋立之。是科得士之盛，前此未有，论者莫不以为知务。详见《贡院碑记》。府治在广威门内，洪武十五年建置，内有经历司、照磨所、司狱司、广盈库、架阁库。其广备仓、税课司、滇池鱼课司、阴阳学、医学、僧纲司、阿吒力